

3月定例山行

3月3日 (日)
参加者15名

黒滝山 白滝山 (竹原市)

CL 小林愷子 SL 江本秀子

石倉・佐々木(敏)・三重(典)・上別祖・反田・熊野・熊谷(修)・熊谷(陽)・三浦・鬼武・国本・(会友)吉森・井上・

天候 晴れ

コースタイム

広島駅8:10発→忠海駅10:20着→登山口10:35発→黒滝山頂11:35着→

白滝山頂12:30着 山頂13:20発→忠海駅14:20着→広島駅16:21着

○

参加者15名でJR三原行きの客となった。車窓をめぐる風景も遠く霞み、すでに春の日差しである。電車に揺られること2時間、忠海駅で下車。駅前の国道を渡り、家並みを抜けて地蔵院への急坂を登る。登山口で衣服の調整、トイレ、体操をすませて出発した。しばらく石仏の続く道を行くが、要所要所に休憩所もあり、展望が楽しめる。途中に「くぐり抜けると幸せになれる」という二つの小さな鳥居があった。幸せになりたい人が挑戦してみたが、中には「もしもお尻がぬけなかったら」とくぐることをためらった人もいたようだ。頂上まで整備された道が続いているが、黒滝山の手前にちょっとした鎖場があり、みんなで緊張とスリルを味わった。白滝山頂で昼食、記念撮影をして下山。島々が重なり合って、とろりと眠ったような美しい瀬戸内の風景が、この山行の大きな魅力であった。(記

小林 愷子)

○

私にとっては今年最初の山行です。黒滝山を經由し白滝山へとゆっくり登り12時30分山頂に着きました。とても変化のある面白い山でした。八朔のような大きなみかんや小さなキンカンが多く見

られ、チューリップも咲いていました。乃木将軍が腰掛けられたといわれる岩に座り美しい島々にまず感動し、平山郁夫さんが平成9年にスケッチされた場所とその絵を見るほどと思い、またくぐり抜ければ幸福が訪れるという小さな鳥居を全員が腹ばいになって通りました。ここまでは何も心配なく行けたのですが、それからが大変でした。というのはまだ登っていない四国の石鎚山同様の鎖場があり(楽なコースがあってもなぜか皆さんそちらを選ばず)上を見ればゾーとするような岩場を鎖を伝いながら登りました。私は仕方なくついて行きましたが、最初の一步だけ足をかけるのが難しく大変でした。鎖場を過ぎかわいい石仏を何体も見ながら白滝山山頂に着きました。山頂では瀬戸内の島々が春霞に浮かんでいました。岩の上での食事は風が冷たく寒かった。下山は鎖場もないし安心して下りました。リーダーをはじめ皆さんお世話になりありがとうございました。

(記 熊谷 陽子)

